

# 1. 調査報告概要表

作成日 平成19年12月 1日

[認知症対応型共同生活介護用]

## 【評価実施概要】

事業所番号	2770801633
法人名	社会福祉法人 隆生福祉会
事業所名	グループホームゆめ長居公園
所在地	大阪市東住吉区鷹合3丁目1番33号 (電話) 06-4700-5677

評価機関名	社会福祉法人 大阪社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺1-1-54 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成 19年 11月 28日

【情報提供票より】(平成 19年 10月 29日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 17年 11月 1日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	18人	常勤	15人, 非常勤 3人, 常勤換算 17人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート造り		
	3階建ての	2階~	3階部分

### (3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	42,000~47,000円	その他の経費(月額)	36,750円	
敷金	有	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (180,000円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1ヶ月当たり		47,250円	

### (4) 利用者の概要 (平成 19年 10月 29日現在)

利用者人数	18名	男性	1名	女性	17名
要介護1	5名	要介護2	7名		
要介護3	3名	要介護4	3名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 81.8歳	最低	66歳	最高	91歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人橘会 東住吉森本病院、坂井歯科医院
---------	-----------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

理事長は、高齢になっても「夢」を持ち生活できる場として特別養護老人ホーム「ゆめあまみ」と認知症対応型グループホーム「ゆめ長居公園」を開設しました。ホームは、デイサービスとの合築で3階建ての2・3階部分に位置しています。「ご利用者の笑顔・ご家族の笑顔・地域の笑顔・職員の笑顔・法人の笑顔」をホームの理念に掲げ、地域住民の憩いの場として地域との交流を図っています。東住吉区のグループホーム連絡会を発足し、交流会や研修会の開催も積極的に働きかけ、区内においてリーダーシップを発揮しています。他に先がけて連絡会に所属するホーム間の空き状況の把握や各種の情報の共有も行ない、他ホームとも連携して住民サービスの向上に取り組んでいます。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況 (関連科目: 外部4)
	前回評価での改善課題は5項目ありましたが、職員間で改善のための検討を行い、この1年間に5項目全てについて取り組みを行っています。改善された項目は①玄関周りの整備②利用者の過去の生活歴や経験を把握し記録に残し情報の共有を図る③各ユニット入り口の開錠とエレベーターのテンキーロック解除④食事と水分量の記録、カロリー把握を行い体重のコントロールと健康管理⑤周辺施設、地域との理解と連携
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)
	管理者は、前回の外部評価結果を職員と共に検討し改善を行っています。自己評価票の作成については職員と共に項目を確認し記入しています。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)
	主な討議内容は、ホームの活動報告、意見交換です。ホームからの報告として①2周年行事「ゆめフェスタ」実施について②市の監査報告③地域交流の状況④ボランティアの状況について報告されました。また、家族・自治会からの要望・意見として①鷹合フェスティバルへの参加②認知症研修への家族参加③食事の内容④ホーム玄関先の掲示板の設置などの意見が出され検討が行われています。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)
	毎月便りを発行し、利用者の生活状況や行事の報告をしています。家族の来訪機会は多く、来訪時に、利用者の状況を説明し話し合いの場を設けています。金銭管理は、個別の出納帳を作成し、領収書と共に家族に送付しています。遠方から来訪の困難な家族には、電話で様子を伝え、希望を確認しています。
重点項目④	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
	地域の保育園、小中学校との交流や地域のお祭りなど自治会行事への参加を積極的に行っています。ホームの開設2周年記念行事「ゆめフェスタ」は、地域の協力や他施設の協力も得ながら開催しました。1階デイサービスセンターの日曜開放も行っています。

## 2. 調 査 報 告 書

(          部分は重点項目です)

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念として、利用者・家族・職員・法人・地域の笑顔を実現することを掲げています。運営上の方針にも「地域及び行政機関との連携を密にすること」を掲げ、地域の行事等に積極的に参加し、ホームが地域の憩いの場となるよう連携を行っています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は各フロアに掲示して共有し、入職時にも説明しています。また、職員研修やカンファレンスなどで具体化するように努めています。職員も理念の具体化に向けて、利用者の笑顔が出るように日常的に関わりを心がけています。ホーム独自の理念も口頭で確認できましたが、法人理念ともに掲示されることが望まれます。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに務めている	積極的に地域行事へ参加しています。中学生のボランティアを受け入れ、1階デイサービスのスペースを地域住民へ開放しています。また、11月には「ゆめフェスタ」を地域の福祉関係者や住民の参画を得て開催しました。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者は、外部評価の項目を職員へ説明しています。職員もグループホームに何が求められているかを確認する機会となっています。前年の要改善項目については、職員と共に検討し、全ての項目について改善を行っています。ホームの鍵の問題も、構造上の難しさがある中で、日中開放に取り組みました。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、規定を作成し2ヶ月に1回定期的に開催し、記録を残しています。家族の要望や会議で出された意見については、職員会議で検討し業務に反映するように努めています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	区の地域包括支援センターやあんしんサポートセンターとの意見交換を行っています。事故報告等は記録に残し、必要に応じて速やかに区へ報告をしています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月便りを発行し、利用者の生活状況や行事の報告をしています。家族の来訪時には、状況を説明し、特に気になる事があれば話し合い、説明の場を設けています。金銭管理は、個別の出納帳を作成し、領収書と共に家族に報告し確認してもらっています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の訪問機会も多く、来訪時に要望や意見を聞くようにしています。家族会はありませんが、運営推進会議には家族の積極的な参加を依頼し、交流の機会となるよう心がけています。遠方の家族に対しては、電話で連絡し要望を聞いています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	管理者は、利用者、家族の信頼関係を構築するために、固定したスタッフでの対応を目指しています。職員の異動時は、便りや来訪時に紹介をしていますが、全家族への周知には至っていません。安心したケアの継続のためには、馴染みの関係が重要となります。新人職員の紹介については、便りの効果的な利用や掲示等の工夫が望まれます。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年6回以上の研修を実施し、内部研修や外部研修へも積極的に参加しています。研修内容には、認知症、感染症対策、緊急時の対応や採用時研修が含まれています。また、研修参加者は、資料と共に記録に残し、伝達講習や資料閲覧ができるようにしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	大阪市のグループホームネットワークに加入し、東住吉区の連絡会を発足し積極的に活動をしています。同業者との交流会や研修会の開催も積極的に働きかけ、区内でリーダーシップを発揮しています。他市ではなかなか進んでいない連絡会に所属するホーム間での空き状況の把握や情報共有も行ない、住民サービス向上に取り組んでいます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居時には、家庭訪問を行い入居前の生活環境を把握し、入居後の生活に繋いでいます。事前見学や入居時の面接などの際には本人と伴って来られることを家族にも勧めています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学び支えあう関係を築いている	日常生活の中で、料理や裁縫、編み物の得意な利用者に職員が教えてもらう場面があります。「ゆめフェスタ」のホーム行事に、利用者も参加し、販売やお金の計算など役割を担いました。職員と利用者が共に、楽しみや喜び合う関係を築いています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居前に通っていた地域の喫茶店に出かける、好きな音楽を聴くなど、日常的な会話やふれあいの中で利用者の意向を聴取し、レクリエーションに反映させています。会話の中から聞き取った利用者一人ひとりの要望や食事の好みなども3階リビングに掲示し、コミュニケーションの手段としても利用しています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者、家族の意見を反映した介護計画書を作成しています。また、計画書の内容はパートを含む全ての職員間で共有しています。ケアカンファレンスを定期的実施し、計画に沿ったケアを実施しています。介護計画書は、家族等への説明を行った上で署名をもらっています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は、6ヶ月毎に、また利用者の状態の変化や要望に合わせての見直しを行っています。アセスメント表、モニタリング記録、カンファレンス記録をパソコン管理すると共に、それぞれに個別ファイルにまとめています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々 の要望に応じて、事業所の多 機能性を活かした柔軟な支援 をしている	本人や家族の状況に応じて、 提携医療機関以外への通院介 助も行っています。また、理美 容の専門学校等と連携し、利 用者のおしゃれの支援を行っ ています。日曜日に1階デイサ ービスを開放し、地域の子育 て中のお母さん方の交流の場 として提供し、利用者とのふ れあいの場にもなっています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切 にし、納得が得られた、かか りつけ医と事業所の関係を築 きながら、適切な医療を受け られるように支援している	利用者、家族の希望を確認し 、かかりつけ医療機関で引き 続き医療が受けられるように 支援をしています。また、連 携医療機関の内科、歯科等の 定期受診もあり、結果を家族 に報告しています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針 の共有 重度化した場合や終末期のあり 方について、できるだけ早い段 階から本人や家族等ならびに かかりつけ医等と繰り返し話し 合い、全員で方針を共有して いる	重度化した場合の対応について は、入居時に口頭で説明をし ています。現在、重度化した 場合は、特別養護老人ホーム など併設施設への移行や他施 設の紹介を行っています。終 末期の対応指針の策定や家族 、医療機関との連携や情報共 有の強化が今後の課題です。	○	今後は、重度化や終末に対す る対応指針を定め、家族、医 師、看護師等を交えて話し合 う場の設定が求められます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	人権については、学習会を実施しています。利用者への言葉かけや対応など、利用者一人ひとりへの配慮が見られます。個人情報の取り扱いは、雇用契約書に職員の秘密保持を義務付けています。記録は、鍵のかかる部屋に管理し、パソコンは、パスワードでの管理を徹底しています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事場面では、急がすことなく利用者一人ひとりのペースを尊重した支援しています。起床時間も利用者の生活に合わせた対応をしています。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	職員は、利用者と同じものを食べながら、必要なサポートをしています。昼食は業者にできたものを注文していますが、味噌汁・ご飯はホームで作っています。夕食は食材の購入から調理まで利用者と共にしています。現在、台所に作業台を置き、利用者が調理にかかりやすい環境を検討中です。環境整備と共に、調理の過程を通じて、できるだけ利用者が自主的にかかわる雰囲気づくりを期待します。		



外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週3回の入浴日を設定しています。希望があれば、入浴日以外の日でも入浴可能です。お風呂は家庭用の個浴ですが、利用者同士で一緒に入浴を楽しんでいる人もいます。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	編み物が好き、音楽が好きなど、利用者の生活歴から得意なこと好みなどを聞き取り記録に残し、情報を共有しています。楽しみの一つとして、ベランダのプランターに利用者一人ひとりが好みの花を植え、職員の支援を受けながら、水遣りなど花の世話をしています。押し花アートや書道の趣味活動、利用者の希望でみかん狩りに行くなど、楽しみごとの支援を積極的にしています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ホームの近くにある長居公園は、日常的な散歩コースとなっています。買い物や外食、または喫茶店や美容サロンなどに出かけるなど、さまざまな外出支援しています。外出を好まない利用者にも、家族の方の協力を得ながら、週1回程度はホーム外へ出かける支援をしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	昨年の外部評価で示された事項でしたが、施錠していたエレベーターホール前のドアについて、自由な暮らしの実現をめざし手動で開放できるように改善されました。利用者が外出しそうな様子をキャッチしたら、一緒に出かけるよう安全面の配慮もしています。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	マニュアルを作成し、消防署の協力を得て、年2回の消防避難訓練を、夜間出火も想定して行っています。3階建ての建物で、利用者が外出時に非常階段を利用する機会も意識的に作っています。非常用食料品と水の備蓄も行っています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量、水分摂取量は、一日を通して把握し記録に残しています。同法人に所属する管理栄養士に意見を聞き、献立を作成しています。入居後、体重増加した利用者もあり、体重チェックと共に食事の献立を検討し、健康管理を考えた食事の提供をしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	長居公園に面したガラス張りの食堂兼居間はゆったりと広く、ソファやテーブルが数箇所あり、自由にくつろげる場所を設けています。カーテンを工夫し、周囲の景色や採光が効果的にリビングに採り入れられ、居心地よい空間となっています。加湿器も設置し、温湿度計で管理もしています。今後も環境への配慮を期待します。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者は、馴染みの家具、家族の写真、タンス、衣装ケース、テレビなどを置いて過ごしています。カーテンも利用者の好みのもを備え付けています。居室の床は、フローリングですが、希望で畳、カーペットに変える事も可能です。ベランダがあり、洗面台が備え付けています。室内は、整理され掃除も行き届いていますが、洗面台やベッドの下など、利用者の手が届きにくい箇所を清潔に保つ配慮が望まれます。		